第2講　【古代編】西アジアと地中海世界の特質

# PART2 古代ギリシアの諸ポリス1

## Chapter1　ポリスの成立とアテネ・スパルタ

目標　ポリスではどのような身分の人々が暮らしていただろうか。
アテネ民主政の基礎がどうやってつくられていったか学ぼう。

### 1　ポリスの成立と発展

①暗黒時代

ギリシアはミケーネ文明滅亡後の前13世紀頃から**暗黒時代**（初期鉄器時代）に突入

→ギリシア人はエーゲ海の島々や小アジアにも移住

→ギリシア語の方言の違いにより，**イオニア人・アイオリス人・ドーリア人**と呼ばれる

②ポリスの成立

前8世紀になると，集落が連合し，**集住（シノイキスモス）**する〔　　　　　　　〕都市国家が各地に成立

③商業の活発化

前8世紀半ばから，各ポリスが地中海と黒海の沿岸各地に〔　　　　　　　〕を建設し，地中海全域で活発に交易した

④ポリスの特徴

A　ポリスは中央に神殿が築かれた**アクロポリス**（城山）と，政治をする**アゴラ**（広場）を持つそれぞれが独立した都市国家

B　ポリス同士は対立・抗争し，ギリシア人として統一国家をつくることはなかった

C　共通の言語（**コイネー**）と神話を共有し，アポロン神の神託，オリンピアの祭典などを通じて同一民族の意識を持ち続け，自分たちを〔　　　　　　　　　〕，異民族を〔　　　　　　　　　　　〕と呼んだ

D　ポリスの住民→自由人の**市民**と隷属する**奴隷**からなる

市民→世襲で土地（クレーロス）を所有する富裕な貴族と〔　　　　　〕

### 2　アテネとスパルタ

①イオニア人のポリス

〔　　　　　　〕は，発達した奴隷制度で銀の採掘や交易で発展

②ドーリア人のポリス

〔　　　　　　　　〕は, 少数のスパルタ市民が多数の被征服民を**ヘイロータイ**（隷属農民），商工業に従事する**ペリオイコイ**（周辺民）として支配

※市民に厳しい軍国主義的な規律を課すなど，〔　　　　　　　　　　　　　　〕と呼ばれる体制により，ギリシア最強国となった。

## 3　アテネ民主政の発展基礎

①前７世紀頃，ポリスでは交易活動が盛んになり，貨幣経済の浸透，商工業の発達によって富裕な平民が現れた

②自費で武装して密集隊形で戦う〔　　　　　　　　〕となった平民→貴族に代わりポリスの軍隊の主力となり，参政権を要求して貴族と対立するようになった

③前７世紀後半，〔　　　　　　　　〕が従来の慣習法を**成文化**

④前６世紀初め，〔　　　　　　〕が貴族と平民の対立の調停者として改革を行う

A　血統ではなく財産額により市民の参政権を定める（**財産政治**）

B　負債を帳消し，平民が身体を抵当とする借財を負った市民を奴隷として売ることを禁止

⑤平民の支持により非合法に独裁政治を行う**僭主**の登場

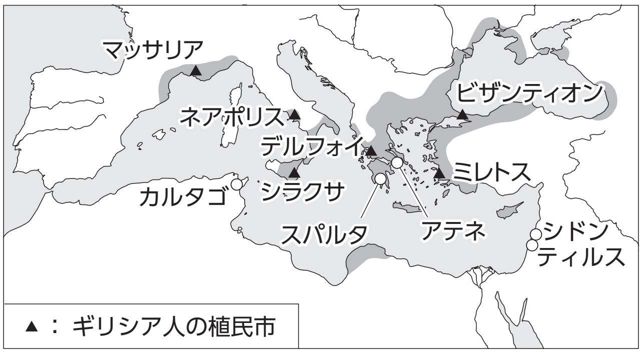
⑥前６世紀半ば，〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を最後に**僭主政治**が崩壊

⑦前 508 年，〔　　　　　　　　　　　　　　〕の改革

A　血縁からデーモス（区）に基づく 10 部族制や 500 人評議会を創設

→民主政の制度的基盤に

B　僭主の出現を防ぐため**陶片追放**（オストラキスモス）の制度を定める




ギリシア人の勢力範囲

まとめ　ポリスでは貴族と平民からなる市民と，隷属する奴隷が暮らしていた。アテネではドラコンの立法，ソロンの財産政治，ペイシストラトスの僭主制を経て，クレイステネスの改革で民主政の基礎がつくられていった。

# Chapter2　ペルシア戦争とアテネ民主政の発展

目標
ペルシア戦争がはじまった経緯を理解しよう。
アテネ民主政は現在の民主主義とどのような違いがあったのだろうか。

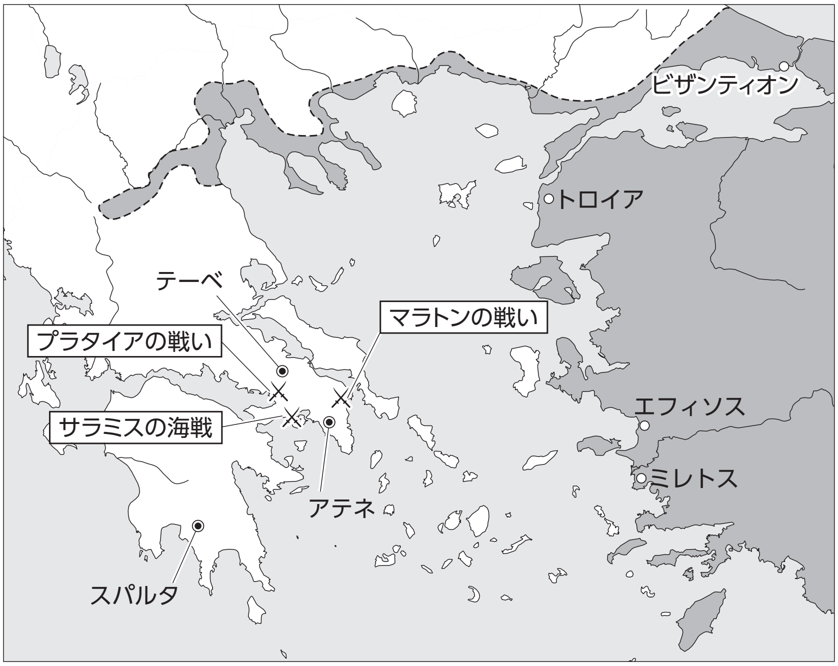
## 1　ペルシア戦争

前 500 年　アケメネス朝ペルシア支配下にあったイオニアで，**ミレトス**を中心としたギリシア人ポリスが反乱をおこす
→アテネが反乱を支援し，〔　　　　　　　　　　〕がおこる
※ペルシア軍はアテネに遠征軍を派遣した。

前 490 年　**マラトンの戦い**でアテネの重装歩兵軍がペルシア軍を破る

前 480 年　〔　　　　　　　〕の海戦で〔　　　　　　　　　　　〕指揮のギリシア連合軍がペルシア軍を破る

前 479 年　**プラタイアの戦い**でギリシア連合軍がペルシア軍を破る
→〔　　　　　　　〕の勝利が確定
※ギリシア人は大国からポリスを守ったことで自信を深めた。




ペルシア戦争時の勢力図

## 2　アテネ民主政の発展

①ペルシア戦争勝利後，ポリスはペルシアの再来に備え〔　　　　　　　　　　　〕を結んだ

※アテネが同盟の盟主となり，支配体制を確立していった。

②前５世紀半ば頃，〔　　　　　　　　　　　〕の指導により〔　　　　　　〕が確立

※アテネの軍船の漕ぎ手として活躍した下層市民も政治に参加するようになっていた。

③ 18 歳以上の男性市民の全体集会である〔　　　　　〕が国政の最高決定機関となる

A　多数決によって決定する〔　　　　　　　　　　　〕

B　市民は貧富にかかわらず平等に参政権

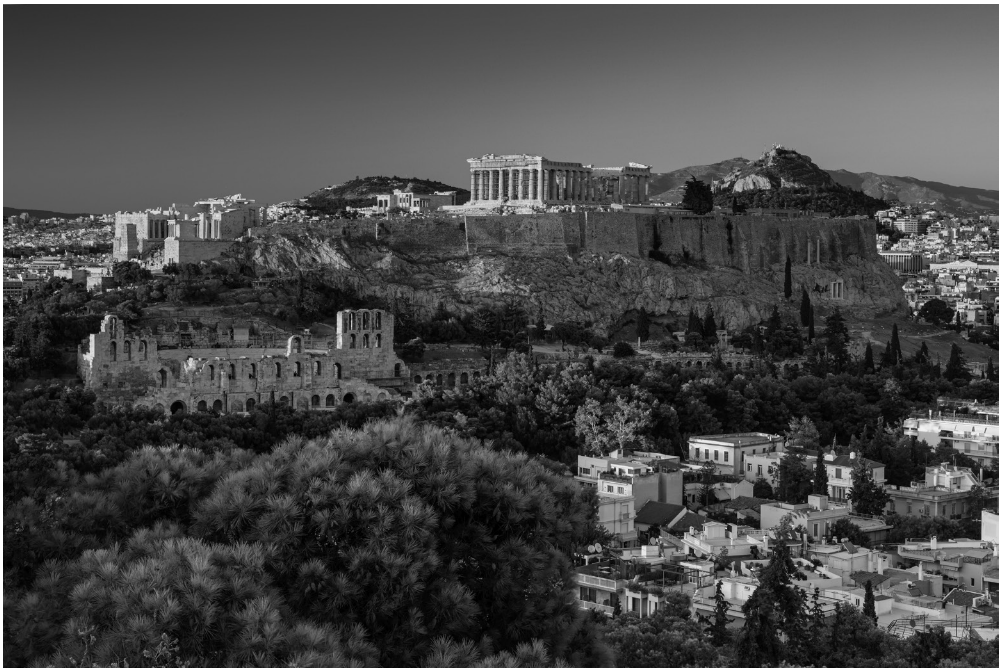
C　ほとんどの公職は一般市民から抽選で選出

D　裁判は抽選で選ばれた陪審員による民衆裁判所で判決

E　役人や政治家の責任は弾劾裁判で追及

F　デロス同盟国のポリスを中心に広まる

G　**女性・奴隷・在留外国人**には参政権はなかった



アテネの街並み

まとめ

ペルシア戦争は，アケメネス朝ペルシアに対するミレトスの反乱をきっかけにはじまった。

女性・奴隷・在留外国人には政治参加が認められなかった。

# 第2講 PART2 確認問題

**1** 前8世紀頃からギリシア各地で形成された，集落の連合である都市国家は何か。

① アクロポリス ② アゴラ
③ クレーロス ④ ポリス

**2** 同一民族の意識を持ち続けたギリシア人が自分たちのことを指した名称は何か。

① バルバロイ ② ヘレネス
③ アポロン ④ オリンピア

**3** ドーリア人が形成した市民に軍国主義的規律を課したポリスはどこか。

① ヘイロータイ ② ペリオイコイ
③ スパルタ ④ アテネ

**4** アテネなどのポリスにおいて，貴族政から民主政への過渡期に出現した平民の支持を利用した独裁者を何というか。

① 僭主 ② 地主
③ 大王 ④ 皇帝

**5** アテネの民主政の過程で，10部族制や500人評議会を創設したのはだれか。

① ドラコン ② クレイステネス
③ ペイシストラトス ④ ソロン

**6** ペルシア戦争でテミストクレスが指揮したギリシア連合軍がペルシア軍を破った戦いは何か。

① マラトンの戦い　② プラタイアの戦い
③ テルモピレーの戦い　④ サラミスの海戦

**7** ペルシア戦争後，ペルシアの再侵攻に備えて多くのポリスが結んだ同盟は何か。

① コリントス同盟　② ハンザ同盟
③ デロス同盟　④ ペロポネソス同盟

**8** 前５世紀半ば頃にアテネで民主政を完成させたのはだれか。

① ペリクレス　② ドラコン
③ ペイシストラトス　④ ソロン

# 第 2 講　PART 2　確認問題 解答

**1** 解答：④
ポリスはギリシア人が建設した都市国家で，中央のアクロポリスには神殿が築かれ，**アゴラ（広場）**が政治の中心となった。

**2** 解答：②
古代のギリシア人は自分たちのことを**ヘレネス**，異民族をバルバロイと呼んだ。

**3** 解答：③
**スパルタ**では奴隷身分の農民である多数のヘイロータイを支配するために市民に軍国主義的規律を課した。

**4** 解答：①
ポリスにおいて平民の支持を利用し，非合法に独裁政治を行う者を**僭主**という。

**5** 解答：②
**クレイステネス**は，民主政の制度的基盤となった 10 部族制や 500 人評議会を創設した。

**6** 解答：④
テミストクレスが指揮した**サラミスの海戦**で，ギリシア連合軍がペルシア軍を破った。

**7** 解答：③
ペルシア戦争勝利後，アテネを盟主として多くのポリスが**デロス同盟**を結んだ。

**8** 解答：①
**ペリクレス**は，民会での直接民主政など，アテネで民主政を完成させた。